

農産物流通

講師名	川村 浩美	実務経験等	農業改良普及センター・農業研究センターでの普及指導員・専門研究員としての経験を活かし、生産から消費に至る農産物及び加工食品流通の多様な形態とそれらを取りまく状況の変化についての講義を担当している。
-----	-------	-------	--

科目区分	学科・経営科	必修・選択 (必修、自由)区分	履修 学年	開講 学期	標準 時間	単位数
農産園芸学科・専門科目	農産園芸・共通	必修	2	前期	30	2
使用教科書・副教材	農産物・食品の市場と流通(筑波書房)					
授業の目的	科学的視野に立って農業を発展させる力を養う体系的学習のひとつとして、農産物を中心とした食品流通の基礎を学ぶ。					
授業の到達目標	生産から消費に至る農産物及び加工食品流通の多様な形態とそれらを取りまく状況の変化を理解する。					

月日	学習項目	学 習 事 項	時 間	授業 形式	備 考 (提出物等)
4月13日	食料・農業と食品の流通	農業の生産動向及び流通に関する消費動向を知り、国民経済における農業の位置を理解する。	2	講義	
4月27日	食品流通のしくみと価格形成	消費に関する基本的な事項及び食品流通のしくみを理解する。	2	講義	
5月11日	農産物・食品の流通機構	流通の基本的概念と流通の機能について理解する。	2	講義	
5月18日	米の流通	米流通の変遷について理解する。	2	講義	
5月25日	青果物の流通	青果物の流通及び卸売市場流通とそれらを取りまく状況の変化について理解する。	2	講義	
6月1日	麦、大豆、花きの流通	麦、大豆の輸入・生産動向、花きの商品特性と流通について理解する。	2	講義	
6月8日	食肉、乳製品、加工食品の流通	畜産物の生産動向、輸入状況とその流通について理解する。	2	講義	
6月22日	食料の需給問題	食料自給率とは何か、自給率の推移、食料輸入について理解する。	2	講義	
6月26日	事例研究	卸売市場、市場外流通施設、農産加工施設等について理解する	8	事例研究	レポート
8月24日	食料・農産物の輸入と輸出	食料・農産物の輸出入状況や農産物貿易の国際協定について理解する	2	講義	
8月31日	食の安全、食と環境	食品の安全及び食に関する環境問題について理解する。	2	講義	
9月9日	まとめ	学習内容のまとめ、補足	2	講義	
		合計	30	時間	

成績評価の方式(評価項目、評価の観点、割合等)

定期試験(筆記試験)70%、平常点(出席状況、学習態度、小テスト、提出物(事例研究レポート))30%

履修に当たっての留意点等

教科書、配布プリント、小テストで復習すること。
事例研究については事前に連絡する。